

安濃川探鳥会&ビーチコーミング報告書

1. 調査概要

調査場所: 安濃川河口部
三重県津市島崎町

調査日時: 平成27年2月15日(日) 10:00~14:30

天候など: 曇りときどき晴れ

調査方法: ①野鳥観察
双眼鏡、デジタルスコープによる観察
②ビーチコーミング
海岸の漂着物や生物を採取

参加人数: 8名
(環境 WG ジュニア2名を含む)

調査当日のタイムテーブル

10:00	津駅東口集合
10:00-10:30	探鳥ポイント(安濃川河口)へ移動
10:30-11:30	探鳥(ミヤコドリ観察)
11:30-12:00	ビーチコーミング
12:00-12:30	昼食
12:30-13:30	ビーチコーミング
13:30-14:00	調査結果の集計、記録 西垣座長からの総評、事務連絡
14:00-14:30	津駅へ移動、解散

●調査ポイントの様子



安濃川



探鳥ポイント



ビーチコーミングポイント

2. 調査活動の様子



津駅から安濃川へ向かいます



野鳥観察の様子①



野鳥観察の様子②



野鳥観察の様子③



野鳥観察の様子④



ミヤコドリ①の群れ



ミヤコドリ①



ミヤコドリ②



カモの群れ①



カモの群れ②



鳥の足跡①



鳥の足跡②



干潟の生物探し



流木に付着した生物を探す①



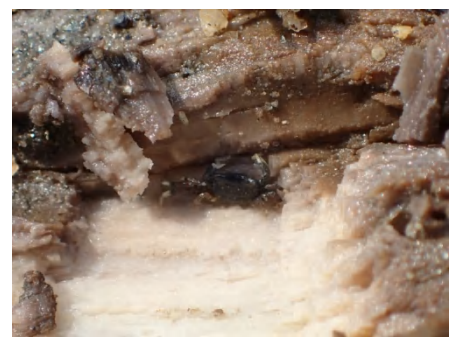
流木に付着した生物を探す②



カニの巣穴



カニの仲間



流木の中に潜っていたカニの仲間



彼方に松阪港の工場群が見えます



ビーチコーミングの様子①



ビーチコーミングの様子②



アカエイの死骸が漂着



アカエイの記録撮影の様子



アカエイをひっくり返す様子



野鳥観察も同時に行いました



野鳥の種類の同定と記録



海に向かって石を投げています



干潟で漂着物を拾っています



トングを使うと便利です



トングでカニの死骸を掴んでいます



海浜植物の記録



コウボウムギを記録している様子



コウボウムギの種を採取



収穫物を持ち寄って記録しています



カメの甲羅を拾いました



カメの甲羅です



3.ビーチコーミングの収穫物



ペットボトル



発泡スチロール製魚箱



人形の首



醤油罎



トランプ



ゴルフボール



ワインボトル



シーグラス



レンガの破片



陶器の破片①



陶器の破片②



徳利の破片



軽石



アサリ①



アサリ②



シオフキ



シオフキ



サルボウガイ



二枚貝の仲間



オキシジミ



タイラギ



マテガイ



アカニシ



ツメタガイ



ゴカイの棲管(石灰質)



ゴカイの棲管(ミノムシ型)①



ゴカイの棲管(ミノムシ型)②



カニの死骸



カニの甲羅



カニの鉗脚①



カニの鋏脚②



1. 哺乳類の骨?



骨の内部



イカの甲(アオリイカ?)



カメの甲羅(イシガメ?)①



カメの甲羅(イシガメ?)②



アカエイ



アカエイ(裏側)



アカエイの毒針



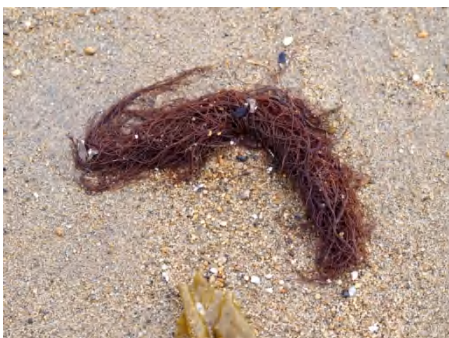
オワンクラゲ



アカクラゲ



カジメ



海藻の一種



流木



流木に生えたカビ



木目が現れた流木



ツバキのガク



ヒノキの実



松ボックリ



ヒシの実



ヒシの実いっぱい



海浜植物①



海浜植物②



海浜植物のロゼッタ



コウボウムギ



コウボウムギの種

(レポート作成)

技術士(衛生工学部門、生物工学部門)

本 堀 雷 太